

平成27年度大紀町商工会地域貢献アピールプラン

大紀町は、老年人口(65歳以上)割合が県下2位と過疎化が激しく進んでおり、同時に地域内商工業者数も減少しています。そのような中、「人の命は何よりも大事 子供は町の宝 お年寄りや町の誇り」を基本理念とする大紀町がさらに発展するよう、平成27年度、大紀町商工会では、次に掲げる事業に取り組みます。

1. 地域商工業者に積極的な経営支援を行い、地域経済の活性化に努めます。

- ①創業、再起業、経営再生、事業承継並びに経営革新支援
- ②三重県経営向上計画認定支援
- ③小規模事業者に対する多様で円滑な金融支援
- ④地域商工業者の課題解決に向けた専門家を活用した専門的支援
- ⑤「小規模基本法」、「小規模支援法」に基づき、小規模事業者へ直接実行される補助事業等の積極的活用支援。
- ⑥経営発達支援事業の1年目事業の実施。

2 大紀町に合ったまちづくりのための地域活性化策の推進に努めます。

- ①地域に合ったまちづくりを実現するため活動している各種団体に対し、様々な角度からの支援を行います。「大紀町地域活性化協議会」・「大紀町産業会議所」等々
- ②農林水産業等の一次産業との連携を行い、製品開発販路拡大に至るまで六次産業化を目指し、地域の付加価値向上のための取組を行います。
同時に昨年度認定した「大紀町ブランド」を更に増やし、地域ブランドとしての付加価値化を目指します。
商工会員の有志により設立した「地域おこし会社」の運営に本会として全面的に協力し、小規模の特産品製造、販売事業者では対応できないような商品化や事業化を目指します。
- ③交流人口増加のため、海・山・川の豊かな自然環境や瀧原宮・頭之宮等の史跡・名所を活用した体験型観光を商品化し、積極的にPRし、観光客の増加に努めます。
- ④ホームページやマスメディア等の活用により、地域の魅力を積極的に発信します。
- ⑤たいき楽市「軽トラ市」毎月実施することにより、町外への消費流出の防止を図るとともに地域産物の発信と交流人口の増加の両面を支援していきます。